

令和4年度第2回丸亀市eモニターアンケート集計結果

「SDGsについて」

本市では、「SDGs日本モデル」宣言に賛同し、SDGsの推進を図っています。

SDGs（エスディーゼーズ）は Sustainable Development Goals の略で、日本語訳は「持続可能な開発目標」です。

2015年9月の国連サミットで193カ国の加盟国が全会一致で採択した2030年までの開発目標で、17の目標などで構成されています。「誰一人取り残さない」をスローガンに、現在も、そして子どもや孫の世代も、豊かな暮らしができ、発展していけるような社会を実現するために、世界全体で取り組んでいく目標です。

このアンケートは、市民の皆さんのSDGsについての認識を把握し、今後の取組に反映させるための資料といたします。

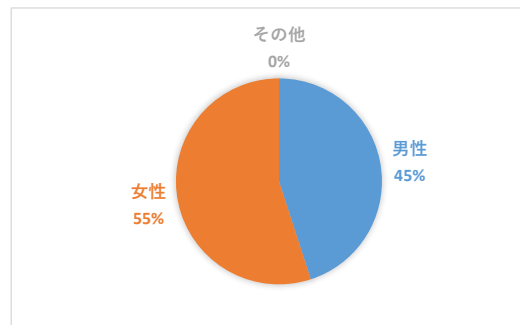
アンケート実施期間：令和4年8月23日～9月1日

対象者数：323人

回答者数：220人（回答率 68.1%）

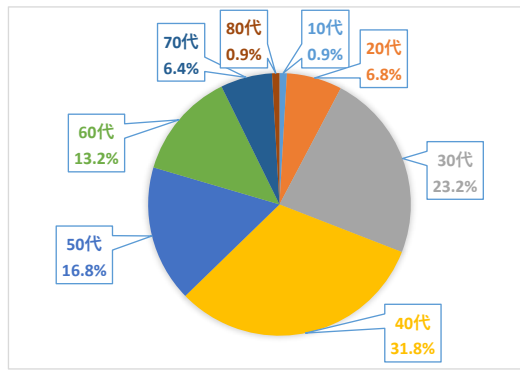
●回答者の性別

性別	人数(人)	割合(%)
男性	99	45.0
女性	121	55.0
その他	0	0.0
計	220	100.0



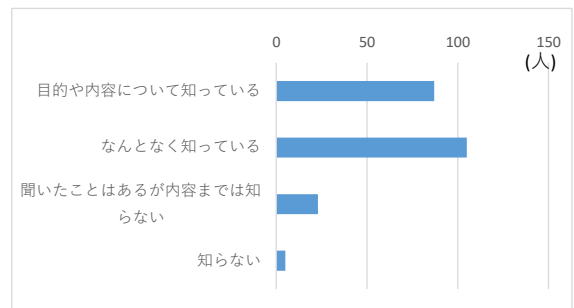
●回答者の年代

年代	人数(人)	割合(%)
10代	2	0.9
20代	15	6.8
30代	51	23.2
40代	70	31.8
50代	37	16.8
60代	29	13.2
70代	14	6.4
80代	2	0.9
計	220	100.0



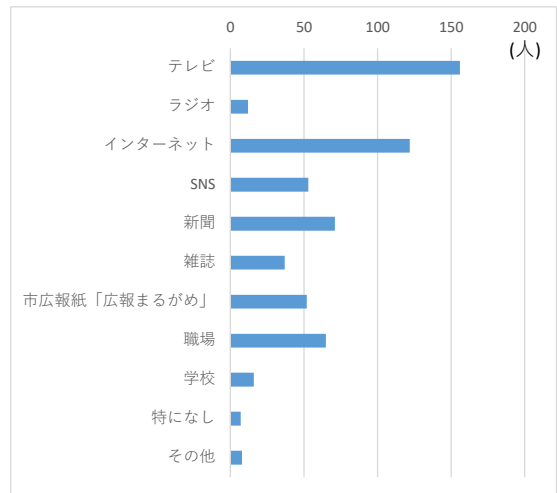
質問1 「SDGs」について知っていますか？

回答	人数(人)	割合(%)
目的や内容について知っている	87	39.5
なんとなく知っている	105	47.7
聞いたことはあるが内容までは知らない	23	10.5
知らない	5	2.3



質問2 SDGsについての情報をどこから得ていますか？（複数回答可）

回答	人数(人)	割合(%)
テレビ	156	26.0
ラジオ	12	2.0
インターネット	122	20.4
SNS	53	8.8
新聞	71	11.9
雑誌	37	6.2
市広報紙「広報まるがめ」	52	8.7
職場	65	10.9
学校	16	2.7
特になし	7	1.2
その他	8	1.3

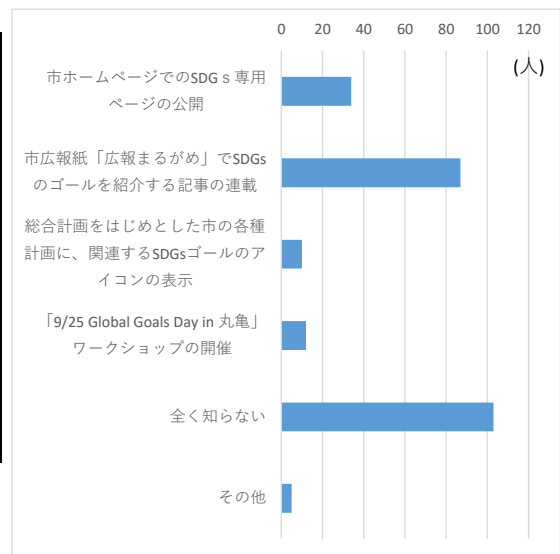


その他の場合、具体的にご記入ください。

子どもから説明を受けたことがある。
中小企業家同友会のSDGs勉強会など
図書館
図書館で借りた本
イベント、会議
言葉は聞くが、よく分からない。
国連関係のニュース

質問3 丸亀市ではSDGs推進のために様々な取組を行っています。特に普及促進に向け取り組んでいる以下の取組のうち、知っているものを選んでください。（複数回答可）

回答	人数(人)	割合(%)
市ホームページでのSDGs専用ページの公開	34	13.5
市広報紙「広報まるがめ」でSDGsのゴールを紹介する記事の連載	87	34.7
総合計画をはじめとした市の各種計画に、関連するSDGsゴールのアイコンの表示	10	4.0
「9/25 Global Goals Day in 丸亀」ワークショップの開催	12	4.8
全く知らない	103	41.0
その他	5	2.0



その他の場合、具体的にご記入ください。

助成金
マルタスでの本の特集

質問4 SDGsの各ゴールに向けて、あなたが家庭や勤務先、学校など日常生活で取り組んでいることがあればご記入ください。

ゴール1 貧困をなくそう

投資について勉強会をしている。
働く
募金をする。
世界の子どもたちに健康と福祉をという目標のもと職場では毎月5000円の寄付を2003年から継続事業として取り組んでいる。

リサイクルショップの活用
給与UP、全正社員化
国境なき医師団への定期的な寄付
フェアトレード商品の購入
フードドライブの活動に参加
適した就職先を見つける。
ユニセフへの募金
勤務先の幼稚園に通っている、親が低所得の外国人の子どものため、制服を貸し出したりしている。
パントリー
買いすぎない
寄付のある商品を見つけると購入している
ひとり親家庭や生活困窮家庭への支援活動
仕事を回す
職場で、ひとり親家庭に物資を支援したり子ども達に学習支援を行っています。
働き方改革
歳末助け合い募金など寄付の利用
仕事を求めている人が 仕事に就けるような援助
赤十字活動のための活動資金の協力
雇用の促進

ゴール2 飢餓をゼロに

フードバンク
無駄を出さない調理法について気をつけている
寄付
食料をムダにしないで、食べること
食事を残さない。食材を使い切る。
食べきれぬ量だけを買うようにしている
職場では、世界の子供たちに健康と福祉をという目標のもと毎月5000円の寄付を2003年から継続事業として取り組んでいる。
食品のロス無くす
貰い物のお裾分け
賞味期限切れのものも使用する
残菜を出さないようにしたり、賞味期限前の食品の購入。
食品ロス無くすため、スーパーでの買い物をする際は値引きされているものを優先して買うようにしている
フードロス削減
余る食品類は早めに寄贈。近くの寺で実践中。
子ども食堂のイベントに協力
昼食代会社負担
今日食べるものは賞味期限が近いものを買う
フードドライブに参加し、お菓子を寄付しました。
無駄なものは買わない
安い材料で料理をする
ユニセフへの募金
食品ロスが出ないように買い物をする
食事提供、フードパントリー
食べられる分だけ得る・食べる
嗜好品は最小限に。
家庭や外食で食品ロス削減努力
冷蔵庫の食品を見直し、食品ロスの減少に努めている
食べ物の破棄する事のないように 家で余った物を有効的に活用
自分の食べる物を家庭菜園でつくる

ゴール3 すべての人に健康と福祉を

電動自転車での移動を心がけている
税金を払う
毎日歩く

積極的に検診を受ける
勤務先で医療の提供
コロナウィルスの感染防止対策
職場では社員の災害防止や職場環境の改善に向けて取り組んでいる。結果、毎年健康経営優良企業の認定をいただき、社員の健康増進と福利厚生に寄与している。また、社内報を毎月25日に発行し、情報発信を行っている。今月は233号を数えた。
運動をする、規則正しい生活をする
ボランティア活動参加
ワクチン募金、感染症対策
定期的な運動
野菜をよく食べる。
ユニセフへの募金
食改さんへの参加
健康診断以外に、VDT健診も受診しています。
運動教室の開催
職場で市町村の健康診断に行けるよう調整をし、行きやすくする
ペットボトルのふたを集めて、寄付している。貧困な国で役立ってくれたらと思っている。
適度な運動
医療系の前職を生かして地域でコミュニティナースとして支援ができるように、現在認知症や発達障がいについての勉強をしている
健康に気をつける
通勤時に自転車を使う
通学路の小学生をいつということはありませんが、見守っているつもりです。
食育講座（保護者、子ども）、ボランティア受け入れ、ヨガや体操等の行事
健康診断を受ける
定期的なジョギング
サプリのサンプルを取り寄せ、試している。
ピンクリボンプロジェクトに協賛しています。
丸亀ロータリークラブでポリオ撲滅の活動をしている
近隣の人との交流
咳エチケット
健康に常に気をつけるような生活を心掛けている。それが福祉にもつながっていくのではないかと感じている。
健康相談参加（コミュニティ）、特定健診受診（毎年）

ゴール4 質の高い教育をみんなに

政治投票
学校へ休まず行く
子どもたちにプログラミングを教えています
毎月25日全社員に向けて適切な情報を届けている。
自分自身の知識向上で手本になる
郷土史講座開催
学習支援ボランティアなどに参加、日本や世界をもっとよく知り学ぶ
ユニセフへの募金
地形や地質が人々の暮らしや文化、災害等に大きく関わっていることを広報しています。
孫への教育支援
マルタスにて、市民活動の展開
教育者の指導教育
モンテッソーリ教育を行っている。
学習支援
学生や社会人にキャリア形成の大切さをお伝えしています
非認知的能力向上のための体験の場
仕事をしながら通信教育で自己啓発
実学一体の職業訓練の普及、促進
美容学校への商品提供をしています。
職場で金融リテラシーの普及に努めている
図書館の活用
社会人向け講座などの活用
教育訓練の受講（スキルアップ、技術向上）、職場体験の受け入れ（中高生）
小中学生の質問に答えられるように自分の知識をアップデート

ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう

個人としてなら変わらない付き合いをしているのでわざわざ意識しない
男だから、女だからという言葉を使わないように意識している。
ジェンダー平等について学ぶ
色々な人が居る！と、理解する
言葉の選択や使い方など、日常生活のあらゆる場面で留意している
子供に教育
誰もが分け隔てなく心豊かに活力あるワークライフバランスを大切に働けるように社員の話をよく聞き、柔軟な働き方ができるように努力している。また、同和研修会などにも参加し、学んできたことを社内報で紹介し、社員のみならずホームページでも紹介している。
相手の立場に寄り添う
個性を大切に、自己表出を妨げない
性別差別をしないよう心掛けている
家事や仕事、子育てを平等に分担
マイノリティーへの理解
お互いに思いやりをもって、できることをする。
子どもに女の子はピンク、男の子は青、などのようにステレオタイプをうえつけないように、色々な色やデザインの衣類などを選んでいる。
多様性を認め合う
職場で意識したり、啓蒙している
男女共通の制服を作る
女性雇用の促進
家事の分担。家事は女性だけがするものではない。少しずつ教育している。
女性管理職の登用促進
多種多様な雇用
LGBTの方の講演会などがあれば参加している
理解をする
子育てしていく上で男の子だから、女の子だからと子供の興味持った遊びや色などにイメージから否定することはしない
自分の中では、平等意識を持つと日々自覚しています。
男女共同参画の視点の講座の開催、男性の育児参画の場づくり
先入観にとらわれない考え方を意識
家庭で偏見を持った意見を言わない。
家事を男女関係なくする
性別で、必要以上に職種を分けない。
女性の活躍を推進しています。
今から成長して大人になる子供にジェンダー平等の意識を持ってもらうために、男女の差がないことや性に正解がないことを当たり前のこととして伝えていっている。
個人の価値観の尊重
家庭で子どもと話している時に、男は…女は…と決めつけた話し方をしないように気をつけています。また人間の性別は男女の2つだけでないことや、社会の中で性別によって配慮されることはあっても、差別されたり、勝手に決めつけられたりすることはないんだよと話すようにしている。
男女共同参画に関心を持って男女平等に心掛けています。
会社内の研修に参加
公職選挙で女性重視を意識する。

ゴール6 安全な水とトイレを世界中に

世界の子供たちに健康と福祉をという目標のもと、職場で毎月5000円の寄付を2003年から継続事業として取り組んでいる。
衛生区、汚染区を分ける
油を流しに流さない
不法投棄をなくす、節水
廃油の適切な処理
井戸水を浄化して家庭水として使う。
食器を洗う前に汚れを取ったり洗剤を少なくする
こまめに蛇口を閉める
ユニセフへの募金
水の無駄使いをしない
自宅以外のトイレを使用したときは、清掃して下さっている人の気持ちになって使用しています。
海の清掃活動に参加
料理の油汚れを拭き取ってから洗う

ウォシュレットを交換した。
節水に心がける
廃油の適切な処理
水の無駄遣い防止を意識する。
有限な安全な水は蛇口を回すと出てくる大切さを痛感。節水の習慣を付けている。
自分の家のトイレをきれいに。公共のトイレに感謝。

ゴール7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに

節電
電化製品を必要最低限に
なるべく公共交通機関を利用して車を使わない
無駄に電気や水などを使わない。
エコリーダーまるがめの登録以前からISO14001の認証を受け、昼休みの消灯、エアコンの温度設定など心がけている。
エコバッグを使う
無駄なエネルギーを使わない
太陽光発電の導入
太陽光発電パネルの設置、LED電球利用
ハイブリッド車に買い替え
エコの取り組み
ゴミを出さない
野菜を皮ごと使用できるものは使い、ゴミを減らしている
アイドリングストップを心掛ける
食品トレー等は廃棄せず、マーケットの回収箱へ返却
車ばかりでなく自転車で移動できる時には自転車を使う
エコな運転(運転時に急発進などしない)
クールビズの取り組み、室温28°Cの設定
ゴミなどもリサイクルするようにしている
エアコンをかけすぎない。
Co2の排出量の削減を啓発している
使わない電気は家族で消すように心がけている。
近くの移動は自転車、徒歩で。
無駄な電気は消す。交流送電を直流送電に変更。これでエネルギーロスが大幅に改善

ゴール8 働きがいも 経済成長も

一生懸命働く
職場の人間関係を良くする
誰もが分け隔てなく心豊かに活力あるワークライフバランスを大切に働けるように社員の話をよく聞き、柔軟な働き方ができるように努力している。また毎年3%以上の昇給を実施している。
楽しく働ける職場づくりの推進
ワークライフバランスを考える
定年後、再雇用で働く
働く時間と賃金のバランスを見直す
可能な限り在宅勤務や時差出勤を行っています。
丸亀市内の中学校で、キャリア教育を実施
地域雇用
有給休暇の積極的取得
自分らしく働き生きることの大切さをお伝えしています
働きがいを感じるために、自分のできること、やりたい仕事を選択しています。
高齢になって働いている方を心から応援しています。
女性の労働環境の促進
得意な分野を仕事にする。苦手な事は出来る人に振る。
定期的にハラスメント研修を実施しています。
働くことは大変なこともあるがやりがいがあって達成感もあって楽しいこともあるということを、時々子供に話をしている。時間外労働は極力しないようにしている。
家族で協力しあい家事分担
自己啓発
経営と労働力のバランスを意識する。

教育訓練の受講（スキルアップ、技術向上）

ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう

地元産の商品、食品を買う

小さな仕事や新しい仕事を生み出す場となる家賃の安い古い建物の活用に取り組んでいる

世界のインフラ設備について学び興味を持つ

機械化、近代化による安定した品質確保

各種補助金の案内をしている

SNS、インターネットの活用

日本の産業・技術革新に役立つ商品選択を心がける。

教育訓練の受講（スキルアップ、技術向上）

新技術、素材の提案

ゴール10 人や国の不平等をなくそう

平等に接する

様々な場面で不平等を生む原因の一つになる情報については、公開と共有を進めている

子どもへの教育

世界の子供たちに健康と福祉をという目標のもと職場では毎月5000円の寄付を2003年から継続事業として取り組んでいる。

宗教を否定せず、人としての倫理を重要視する

外国人採用、海外との取引

外国人の方に積極的にあいさつをしている。

障がい者への理解

自分の頭で考えて行動する。

職場をどの国の方も利用しやすいよう臨機応変に対応する

募金する

外国人も日本人も、高齢者も若者も、障害者も健常者も、すべての人に感謝とリスペクトを。

お互いを思いやり優しさを持って接する

お互いを認め合い、理解する

ニュースなどの情報をよく見て、考えるようにしています。

外国にルーツを持つ家庭への支援

定期的にハラスメント研修を実施しています。

JICAなどの海外経済援助・技術援助を個人としても支援する。

ゴール11 住み続けられるまちづくりを

ゴミ拾いなど

同調圧力に屈せず、市民が普通に発言できる場づくりを進めている

職場では地球になるべく負荷をかけない洗剤や資機材の購入に努め、正しく使用し品質を高めながら地球環境にやさしい清掃を目指している。

地域の活動に参加する

近所の人との交流、情報交換

文化、スポーツ活動の推進

防災アドバイザーとして活動しています。

選挙への参加

コミュニティと自治会の活動を活発にする。

ポイ捨てをしないようにしている。ゴミはゴミ箱へ

地元のサッカーチームが使うピカラスタジアムの清掃ボランティアに参加しています。

街をキレイにする

人への思いやり

ゴミ回収日前日には犬の散歩ついでに散歩ルートのポイ捨てゴミを回収しています

お互いが気持ちよく住み続けられるよう、相手の気持ちになって声をかけたり接したりします。

災害時の対策と、準備をしておく。

市内で消費、市内施設を堪能

自分が住んでいる市に関心を持つ

文化や芸術、自然を守るため、日本各地の地域と連携しています。

丸亀市の施策に協力している

近隣の人との助け合い

周辺地域の清掃

省エネ住宅やゆとりあるまちづくり(公園の設置など)に公的援助をすることに賛成する。
職場体験の受け入れ(中高生)、地域清掃活動(ボランティア清掃、近隣周辺清掃)
隣家の除草等
地域の除草を含めた清掃と危険箇所の点検。さらに高齢者の見守りと小学生の登校見守り活動。

ゴール12 つくる責任 つかう責任

余計なものを買わない。
食品ロスを減らす
様々な場面で、市民の役割、行政の役割について考えている
物を買う時は、使う場面をよく考えて、使い続けられる物を買う。
ペットボトルのものをかうのはやめました。飲み水を持ち歩くときは、水筒を使っています。
職場では地球になるべく負荷をかけない洗剤や資機材の購入に努め、正しく使用し品質を高めながら地球環境にやさしい清掃を目指している。また、洗剤は大箱購入をし、プラスチック容器のリユースを進め、なるべくごみを減らしている。
リサイクル可能な物を使う
100%リサイクル、企業エコ活動
食べ残しをしない
リサイクル、リユースを心がける
エコバッグの利用
子どもにくれた新しいものやお下がりは、あまり選り好みせず使うようにし、必要以上に新しくものを買ったりはしないようにしている。また unnecessaryなものは捨てるのではなくまた必要としている人に譲るようにしている。
廃棄食料を減らす。ローリングストックの取り組み。
買すぎない使すぎないでごみの量を減らしている
双方がお互いの気持ちを汲みとりながら作り、使いすと良い。
余った食材を、捨てないようにインターネットを利用して、初めてのレシピに挑戦している。
賞味期限の近いものから購入する
無駄をしないよう、よく考えて料理などします。また、最後まで使うことを目標にしています。
ごみの分別、リサイクルをしっかりと行う
マイバッグ、マイボトル、マイ箸を利用
3R、購入する時はゴールを意識する
食べ物に残さない。なるべく簡単な包装のものをかう。無駄にならないようにかう。
製造物責任(PL)法をチェックしている。
地元農家協力のもと、社員自らが原料づくりに取り組んでいます。
フリマサイトの活用
リサイクル品の購入
有害な、資源の無駄遣いにつながる商品は使わない、購入しない。
物が溢れている時代だからこそ大切に使うよう心掛けている。
食品の購入は必要な分だけ、地産地消
公共資材等の確実な返却
下水道へ食用油の廃油を捨てない。

ゴール13 気候変動に具体的な対策を

車の急発進を減らして二酸化炭素の排出を減らす
無駄なエネルギーを使わない
家庭(生活)での省エネ
車の使用は極力控えて、公共交通機関を使います。
小さな一歩を大切に、「家庭でできる地球にやさしい活動」として、できる限り毎月の社内報で情報発信をしている。
電気の無駄遣いをしない
電気、水の節約。水、空気を汚さないよう心がけている。
クールビズ
移動はなるべく徒歩か自転車を。
みどりの保全、整備に注力すべく進言しています。
庭でゴミを燃やさない
まずはゴミの分別から
エアコンは室温28度を目安にしている
衣類の調節
休日の買い物は、自転車をなるべく使う。
熱中症に気を付けながら、サーキュレーターを使用しエアコンの温度をあげている

無駄なゴミを出さない
必要以上にエネルギーを使用しないよう、気温や湿度をチェックして、自分でエアコンやストーブ、扇風機などを管理しています。
ペーパーレス
エアコンは使わない、夜の部屋の灯りは控えめに
クーラーの設定温度を下げすぎない
エアコンや照明の省エネを意識して利用
車の所有を止めて、公共交通機関や自転車、バイクで移動している。
地元農家協力のもと、社員自らが原料づくりに取り組んでいます。
各種エネルギー施策に金融、コンサル支援をしている
エアコンを使い過ぎないようにグリーンカーテンを設置したり、涼しい夜は窓を開けて寝るようにした。自転車を購入して近場の移動はそれで行くようにしている。
家電の電源をこまめに切る。洗い物をするときに水をためて洗う。
二酸化炭素の増加につながらないような消費生活のしかたを工夫する。
ハイブリッド車の利用
自家用車のEV化、自然エネルギーの活用。

ゴール14 海の豊かさを守ろう

ゴミを海にすてない。
ポイ捨てしない
ビーチは、来た時よりも美しく
海の豊かさは陸側の緑化が重要と考え、行政に呼びかけているが・・・
海にゴミや汚水を流さない
海岸清掃
職場では、清掃で出た剥離汚水は産業廃棄物として適切に処分し、河川や下水を汚さない努力をしている。
ゴミは持ち帰る
川にゴミを捨てない。
マイバッグマイボトルを持ち歩きプラ削減に取り組む
釣りをしたらゴミは持ち帰る、釣った魚は感謝して残さず食べる
排水の水質を守る。
県民の皆様に瀬戸内の魅力を再認識していただくよう、ジオクルージング等の企画に参加しています。
近隣の河川の生活ゴミを回収している
海資源を守る
プラスチックゴミの削減
油の処理をきちんとし下水に流さない
ストローを紙にする
ゴミになる新聞やティッシュなどを利用して、食後の食器汚れを拭き取り、海に流れ込む水をできるだけ汚さない努力をしている。
意識して魚、海藻などを食べる
プラスチック製品をなるべく使わない
ゴミを見つけたら拾う
買い物の時は必ずエコバッグを持ち海に流れ込むプラスチックの削減に繋げている
詰め替え商品を買う。
ペットボトルを購入しないように水筒を持ち歩く。
海ゴミを拾うようにしている
マイクロプラスチックの増加につながらない。
近隣水路のポイ捨てペットボトル等の回収
地域清掃活動（ボランティア清掃、近隣周辺清掃）
海ごみ清掃イベントへの参加

ゴール15 陸の豊かさを守ろう

食の地産地消
ゴミを見つけたら拾う
ゴミを捨てない
ゴミは持ち帰る
動植物の豊かさが重要であり、自身の土地での緑化を実施、行政にも呼びかけるが・・・
土器川清掃
節電節水に努め、雑巾での清掃などは井戸水を活用している。井戸に手押しポンプを設置し、災害時に地域貢献できるように努めたい。また、NPO法人フォレストーズかがわの活動も応援している。

割りばしを使わないようにしている
天然素材商品の輸入販売
ゴミを減らす
陸、海の豊かさに触れることはジオパークの理念そのものでもあり、讃岐ジオパーク構想の推進活動をしています。
田畑を使う。野菜を食べる。フードロスを意識する。
むやみにティッシュペーパーや紙を使わない
地元農家協力のもと、社員自らが原料づくりに取り組んでいます。
庭に種から育てたレモンの苗を植えたのが3年して大きくなってきた
マグボトルの活用。
ゴミの分別を徹底し、リサイクル出来るものはリサイクル品として出す。
ゴミの不法投棄を無くす政策を支持する。
地域清掃活動（ボランティア清掃、近隣周辺清掃）
植樹を含めた緑化の推進。

ゴール16 平和と公正をすべての人に

ウクライナのニュースを子どもと見る。
いつも意識して行動
公正には情報が大きく影響する。組織運営では情報共有に最も留意している。
「世界の子供たちに健康と福祉を」という目標のもと職場では毎月5000円の寄付を2003年から継続事業として取り組んでいる。
収益活動の多様化、労働分配
選挙に行く
戦争体験者の体験談の記録づくり。
権利の主張をする前に義務を果たす
常に戦いが起きたときにどうするか準備する。
相手を思いやる心を育てよう。
戦争を外国のことだと思わず、我が身に置き換えて考えてみる
残酷なニュースを聞いて子どもと一緒に問題を話し合うようにしている
政治の腐敗に声をあげる。
戦争につながるような民族差別の意識を醸成させない。

ゴール17 パートナーシップで目標を達成しよう

事業の目標達成のため、志のある企業や個人の選定に気をつけている
いざという時のために、トイレットペーパーをストックしたり、使い捨てトイレを常備したりしている。また、災害時炊き出しもできるように鍋や釜、薪なども準備している。
情報共有と相互協力
個人の自由を尊重
相手を尊重、違いを認める努力
助け合い
子育ての課題に対し、様々な企業、団体、個人の方々と繋がり活動をしている
少なくとも人を欺かない。
産、学、官、金の連携に努めている
海外の情勢にも目を向ける。
お互い話し合うなど共通の認識を育てる。
人の話は最後まで聞く。

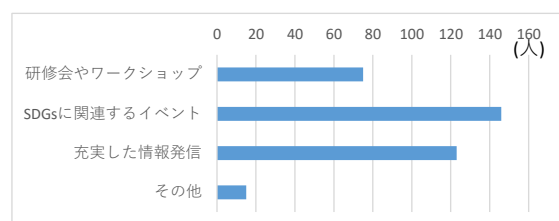
質問5 現在実践している取組の他に、SDGsの達成に向けて今後あなたが取り組みたいと思うことがあればご記入ください。

食品ロスを減らす
協働や共創はSDGs達成のためにも誰もが認識しておきたいことである。協働の認識の向上には、情報の公開と共有が不可欠であり、自身の活動など情報公開を進めると共に、公共情報の公開についても推進を呼びかけていきたい。
あらゆる生活の場面で考えてみる。
清掃ボランティア
今後は、太陽光発電装置などを利用して会社内で消費する電力をまかなったり、蓄電をして災害に備えたりしていきたい。
食、エネルギー、福祉の地産地消
生ごみの量を減らす
名前は聞いたことがあったが、各都道府県市町村や各企業のパフォーマンス、やっていますアピールかな…程度にしか知らなかったのが、丸亀市が本気で取り組んでいる事がわかれば、何かしら可能な事はしようかなとは思っています。

地域のボランティアに参加してみたい
子どもはまだ0才であるが、今後さまざまなステレオタイプをなるべく押し付けないようにし、ジェンダー平等に取り組んでいきたい。
飯野山を始めとして飯山・綾歌の自然と土地の成り立ちが如何に市民生活に関与しているかを探求し、過去の痛みと今後の恵みを分析したい。
物のリサイクル。健康維持と高齢者の福祉活動。
蓄電池の設置、ゴミの分別や削減
地球環境改善
ゴミを増やさないようにする。
エネルギーの節約
予定が会えば、ボランティア活動に参加していきたいです。
全ての項目はできないので、身近なことから取り組んでいきたい
なるべく自転車の利用
食品ロスをなくす、スーパーでの買い物のとき食料品は手前取りをする、電気・水を大切に使う、自分がしていることを子どもにも話し家族で実践。
1人が守ってもできる解決策はない。人が助けい成り立っていかないといけない。
子どもたちと一緒に取り組めることを、子どもたちと一緒に考えていきたい。
卓上の勉強だけでなく、自然との関わりを全身で感じられる活動を、子供達と出来れば順応性や感受性が豊かになり人々の関わりにも良い影響を得られるのでは無いかと思います。
リサイクル活動を積極的に行い、地球上ゴミをできる限り減らし、陸の豊かさを守っていきたい。
何ができるかは分かりませんが、まずは、身近な周りに目を向けるべきだと思いました。そこから、どんどん広がっていくものだと。
会社への通勤を自転車でしたい。ヨーロッパの国のように、電車で自転車が乗せられたらいいのに、と思っている。
食べ残しをやめフードロスの削減を
無駄遣いしている人には注意する。
環境に優しい生活
本当に使うもの、食べるものを無駄にしないよう、よく考えて購入するようにしたいと思います。
ボランティア活動をしたと思っていますが、どの様にしたら参加出来るか判っていません。
安全で安心して歩けるまちづくり。
身近なところで感じるのは、道に落ちているゴミです。地域での活動はありますが、人々の意識をどうにかしたいと思います。
親や子どもにSDGsが何かを伝えながら一緒に学んだり、体験したりする機会を作る
働きがいも経済成長も
公共交通機関を利用する。今あるストローを使い切ったら、もう買わないつもり。
無駄なモノを買わない。余り多くを望まない。
車通勤ですが、余裕をもって通勤し、少しでも燃費をよくしたいです。
世界中の人々の水環境を改善。東京ビッグサイトの防災イベント出展時にJICA経由で3カ国と商談した実績はあります。
日本だけでなく世界に目を向けて今の問題をクローズアップしながら子供と話し合いをしていきたい。
政治に興味を持つ。
家庭での食品ロスを無くしたいと思います。そのために、簡単な家庭料理など自分でできそうな料理をSNSなどで情報を得て、食材を残さず使っていきたい。
再生可能エネルギーを利用した発電を行っている電力会社へ契約を切り替える。
言葉はよく聞きますが、具体的な取り組みがよくからないので、まずもっと関心を持ち、実践例などを調べていきたいと思います。
リサイクル事業（使用済みカイロが海をきれいにできるらしい）
瀬戸内海の家ゴミを何とかしたいと思っている。個人で拾うのもいいが、限度がある。市の取り組みはないのか疑問。ボランティア活動イベント等の主催を、定期的に開かないのですか？
ゴミ削減、リサイクル化、カーボンニュートラル商品の積極的購入など
ゴミの減量化。なかなか難しい。
訳あり商品の率先購入
自分の出来ることから。他人に迷惑を掛けないように第一歩という意識を忘れない。
シャワーで済ませる。適切なエアコンの設定温度。地元で買い物する。
ゴミのポイ捨て・ペットの糞処理・公共物の損壊等、身勝手な行いに対して、世界的に公衆道徳心の醸成を図らなければならない。

質問6 SDGs達成のためには、行政だけでなく市民や事業者の皆様とともに取り組んでいかなければなりません。SDGsについての理解を深め、実践していくために、市はどのようなことに取り組むと良いと思いますか？（複数回答可）

回答	人数(人)	割合(%)
研修会やワークショップ	75	20.9
SDGsに関連するイベント	146	40.7
充実した情報発信	123	34.3
その他	15	4.2



その他の場合、具体的にご記入ください。

一方的な方向性だけではなく、目的に向かって本来あるべき姿をよく考える機会を与えてほしい。特に子どもに判断基準として、一方的な方向性だけを与えるのは良く無いと考えている。
徳島県上勝町のような取り組み
研修もイベントもワークショップも興味のある人しか行かない。広報も毎月届いても見ない人は多いと思うので市が何かしていたとしても知る人は少ないと思う。もっと違う角度から物事を見て周知する必要があるのではないかと思います。
SDGsがそもそもよく分かってないです。そういう方も多いのではないのでしょうか？聞いた事はあるけど、それが実際に何なのか、何をすればいいのか、もっともっと目に留まるような発信をしていただけたらと思います！
行政だけでなく市民や事業者の皆様とともに取り組むことは言うまでもありませんので、まず、行政サイドの職員の意識改革が必要です。
コロナ等が日常生活に蔓延し、SDGsどころではないと考えます。今の生活が充実して始めて、未来に向けて視線を上げれると思いますので、丸亀市は他の自治体よりも資金力があられるように感じるのでは(ポート助成金等)、市民に分配するような動きを作り、今の生活を守るという仕組みを作ってはいかがでしょうか？
企業や団体が取り組んでいる目標や分野に対しては専門的知識が必要なため深入りせず、丸亀市は子供や高齢者・障害者に関わるもの、またクリーン関係や自然関係を目標にして、自分たちの得意分野および自分たちにしかできない取り組み目標が良いと思います。
家庭や子どもができる、具体的で小さな実践例。実践ポイント制になるアプリやスタンプラリーのようなものの導入。
他所と比べてりせず、身の丈に合った事をしてほしい。職員が理解できたら、市民も理解できると思う。
具体的でない質問に具体的な回答を求められても困ります。丸亀市は人口の増加が最終的な目標ですか？私自身の不勉強かつ情報収集能力がない為、丸亀市が何を目標にし、どのような活動を具体的にしているのか何も知りません。職員の皆様も、いろいろ現場活動されていらっしゃると思いますが、全く知りません。申し訳御座いません。
特徴のある補助金など、丸亀市独自の施策
よく分からない
SDGsの目的はよいと思うが、ある一部だけが極端にとりあげられてその周りの関係者だけが騒ぎしてる印象がある。具体的にはジェンダーや環境や気候の問題がセンセーショナルに取り上げられる傾向があるが、その他にも貧困をなくすとか、経済の発展も重要な問題である。また方向性にしても前者のよく取り上げられる問題に関してはそれで正しいのかと思う点も多々ある。一部分だけでなく様々な面にスポットライトを当てる必要もあるし、一面だけでなく多様な見方というのを提供していかねばならないように思う。
全て良いと思う。ただ押し付けでなく、子ども達には、観察をした上でこれでいいのかと考えさせることが大事と思う。

質問7 丸亀市でのSDGsの推進についてご意見等がありましたら、ご自由に記載してください。

SDGsと呼称して心地良さそうな理想論を広めているが、目標実現のために現実的な方法をとることができているのか、改めて向き合っ欲しい。
テレビなどで子どもから教わる事も増えてきました。具体的な取り組みをどうしたらいいかなどをもっと今から勉強したいと思います。
まずは丸亀市内単位でのSDGsの推進を願いたい。特に"質の高い教育""経済成長""産業・技術革新基盤""住みやすいまち"これらを重点的に強化し、他の市区町村のモデルとなるような丸亀市になることを期待しています。
ゴール4、9について子ども向けもしくは大人向けのワークショップなどのイベントを開催していただけたら。
現場をしっかりと見て、課題などの本質について議論する場がほしい。
SDGsの色とりどりのマークをもっと色々なところに掲げてほしい。それと、丸亀市民としてSDGsに参加していることを示すために、市のマスコットと丸いSDGsのマークを合わせたピンバッジなどを作ってほしい。示すことにより自分でも意識して取り組みたいです。
丸亀市が何をどう取り組んでいるのかが分かりません
大きな目標から具体的な取り組みを紹介していくなど、些細な活動でも、地球環境の保護に役立ち、一人ひとりが地球を守っていくのだという意識を持てるように啓発していただくことが大切だと思います。
もっと市民に理解してもらえるよう行動し、理解してもらえような情報発信が必要だと思います。
少子高齢化への対策（婚活イベントの取り組み）、高齢者の憩いの場所やイベントを増やす、バスの本数を増やすなど
SDGsに急に取り組んでいるというより、我々日本人は1000年以上昔より取り組んでいることと感じてます。なので、日本人が古来から大事にしているものを国連などが最近になって始めたという日本人としての誇りをそこに付けくわえながら広めてもらいたいと思っています。
コミュニティや学校を巻き込んだ行事を。近くの川にはすごいゴミが捨てられたり、猫や鳥にエサをやる人がいたりする。それがいかに迷惑な行為なのか、映像などを使ってたくさんの人に知らせてほしい。
子どもたちが積極的に取り組みやすいイベントの開催があるとありがたいです。
「これをやればSDGs」といっいち意識することなく、日常の生活行動が、自然とSDGsに繋がる行動に結びつく、身につけるような1人1人の意識改革が大事だと思います。
1人暮らしのお年寄りのサポート
一人一人が自分のできる範囲で協力すること。ゴミを落とさない、持ち帰る等小さいことの積み重ねが大事だと思います。自宅の周辺で散歩のとき、ゴミ袋を持って歩いています毎日いっぱいになります。小さいことですが、捨てる人は毎日います。啓発が大事だと思います。3ヶ月に1回くらい川の周りだけでも清掃日にしたらどうでしょう。私のような暇な老人はいくらでもいると思います。
市民に期待する言動より、市役所職員の意識改革に繋がるような勉強、研修を最優先に取り組む必要があると思っています。
大きい発泡スチロールの回収は無理でしょうか？

まずは丸亀市の貧困をなくしてからです。ひとり親家庭多いです。
今回のアンケートを答えていて、SDGsという言葉自体はよく聞くようにはなったのですが、具体的な事は何一つ理解していないんだなと感じました。もっと簡単に、それでいて深く理解出来るきっかけがあればいいのと思いました。
市の取り組みの情報不足
SDGsについてもっと詳しく教えて欲しい。
学校や職場で、セミナーや研修開催し、情報発信すべき
広報紙等で参加できるイベントの企画や情報発信をしてほしいです。
具体的にどうしたらいいかを示してもらいたい
自身が個人事業主として生計を立てているのですが、コロナ陽性となり仕事がストップする中で自宅療養が10日間も続きます。この間は、無収入となり補填の手立てもない現実を知ったからこそ解決に向かうべきではないかと感じました。10日間、自宅療養を強制するのであれば、何らかの納得の措置を願います。傷病手当金は、雇われている人が貰う制度で、個人事業主は0円支給。3人分の国民健康保険を払い(年間で30万程)、仕事が忙しくてろくに病院などに行っていない中で、コロナとなり行政からの支援はなし。緊急小口は申し込む予定ですが、結局は借金。市民税やら固定資産税、消費税も納めているのにです。細々と暮らしている、個人事業主の声を聞いて欲しく思いますし、丸亀市でも沢山いる方々の声なき声を届けたく思います。
アンケートを見るまで、丸亀市で取り組んでいることをほとんど知らなかった。ホームページはよく見ているけど、もっと情報発信した方がいい。
気軽に家族で参加出来るイベントがあれば良いと思います。
SDGsの言葉を知りませんでした。もっとあらゆる手段で広めるべきだと思いました。
無駄に道路ばかり直さず、もっと福祉のほうにお金を使ってほしい。
私は発達障がい児を育てていますが、障がいのある子どもや母親は取り残されていると感じる場面が多いです。丸亀市未来を築く総合戦略には公園や子育て支援の拡充が記載されていましたが、障がいのある子とない子が同じ場所に居ただけでは仲良くはなれないです。障がいについて知識のあるプレイリーダーが必要です。そのような遊び場が少なすぎます。単に行ける、使えるだけでは、多様な子どもの遊び場としては対応できないのではないのでしょうか?外出を避けてしまい孤独、孤立をしている親子は意外に多いです。誰一人取り残さない社会になるよう願っています。
市の広報紙に紹介記事があった記憶がありますが、読み飛ばしました。専用冊子を配布していただいたら読むと思います。そのようなところにボランティア活動の参加募集などもあれば良いと思います。
自分が住んでいる家、町、そして、地域が大好きであれば、行動も変わってきます。そのためには、小さいときからちょっとしたテーマを持って子どもたちに大きくなってほしいです。そのテーマはいろいろだと思いますが、その子どもたちに期待したいと思います。
丸亀市の具体的な取り組みをよく知らないで、まだまだ情報が行き届いていないと思います。
子どもの自由研究のテーマにSDGsを選ぼうと思い図書館で調べると、かなり幅広いジャンルで驚いた。フードロス、節水、節電…それくらいしかイメージできていなかった。短時間でまとめられるものではないと、自由研究は諦めたが、家族で世界レベルの環境問題や経済、貧困、ジェンダーレスなどについて話したのは初めてだったので良い機会になった。ワークショップや勉強会など子どもも参加できるイベントがあれば参加したい。
SDGsが長期的な目で見た時に効果があることを願うが、SDGsを意識するあまり費用が高くつく、ムダが多くなる等良い効果が得られないようならば止めた方が良くと思う。SDGsを行う為の資源は税金だと思うのでムダにならないようお願いしたい。
企業や団体と比べ、SDGsへの取り組みや発信が遅いのではと感じます。
SDGsの推進は、市民と行政の協力が必要だと思いますので、先ず自分の出来ることから実践を積み重ねたいと思います、引き続き情報発信等をお願いいたします。
イベントがあれば、子供と一緒に参加できて、考えるきっかけになると思います。
みなとまち公園の整備事業は、持続可能ではないと思う。人が少ないのに、賑わうことはあり得ない。あの公園は、人が疎らだけど、利用している人は、結構いる。あれ以上、人工的なモノを加えなくていい。お城南側、丸太風手すりは、撤去して欲しいくらい、似合っていない。あなるのかと思うと、がっかりする。
紙媒体だけでなく、インターネットを通じ、取組み等をメールで発信した方が記憶に残ります。
個々の目標の明確化の確認及び意識調査並びに具体的な取り組みへの努力値の確認
丸亀市に住んでいる方々にSDGsのことをお伝えしたり、丸亀市でのSDGsの取り組みをもっと知っていただけるきっかけとなるような場が増えると嬉しいです。
各種企業、団体との連携が効果的だと思います。
市役所やその関係の施設だけではなく、子供が集まる公園などでイベントをすれば様々な人に伝えられるのではないかと思います。
今回のアンケートをきっかけにSDGsについて調べ、目的、意味を知ることができました。みなさんの取り組みも知りたいです。
このアンケートを機に、なんとなくイメージで耳にしていたものの、明確な目的や内容に関してはあやふやな知識で、勉強不足を感じました。小学生の子どもたちは学校で学んだり、体験に取り入れてくださったり家でも話題にしています。私のような何となくでしか知らない大人が、子どもたちと肩を並べて話や行動ができるようなきっかけを丸亀市で作っていただけたらと思います。
SDGsのバッジを付けている人をテレビなどでよく見ます。しかし、そのゴールとなる項目がたくさんあり、抽象的なので、もう一つ身近に感じられません。私の不勉強が原因かとは思いますが、しつこくPRするしかないのでしょうか。
良くやってる。
ゴールは大事だがその過程を具体的にやる方がゴールをイメージしやすいと思う。貧困をなくすために何をと問うのではなく、こうすれば貧困をなくせる取組ですと。もっとわかりやすい言葉(行政言葉や広く使われている言葉を使い回さず)にかみ砕いてほしい。

<p>SDGsに関する市の取り組みはあまり伝わっていません。質問4でアンケートで人に聞くよりも、市がそれについて今何をしているのかの取り組みを、具体的に教えてほしいぐらいです。住み続けられるまちづくりを、というところで、中央図書館の平面駐車場がもっと必要だと思います。もしくはエレベーター。ガタガタしない歩道。車椅子や、足の悪い老人や、赤ちゃんを抱っこして手を引く子連れが、地下駐車場に停めて、本も抱えて、階段を降りて登って。子育てではそれだけじゃなくて、行きも帰りも続きがあります。考えるだけでくたびれるし、無理がある。そのために遠くても、駐車場が近い別の図書館に行く人がいます。平面駐車場や地下駐輪場の1階入り口付近に停める人がいるのを、「停めないようにしましょう」と注意書きするよりも、誰もが使いやすくしたらどうですか。</p>
<p>SDGs云々という点に関わらずに市民が幸せになることを一番に動いてほしい。</p>
<p>丸亀市として取り組む、何点が重点項目を3項目ぐらいに設定して、取り組みを推進する必要があると思います。そのためには、丸亀市が目指すビジョンを市民に浸透させることが必要かと思えます。</p>
<p>一個人でもできる小さな事から始められるものの提案など</p>
<p>瀬戸内海のマイクロプラスチックは、河川からのものがほとんどだと。豊かな里海を守って行くために丸亀市のクリーンデーを設け、市民全体で河川・海の清掃活動をしたらどうでしょうか。市民の意識づけとみんなで実践する一体感にもつながる。</p>
<p>発信でなく検索されるコンテンツの蓄積。</p>
<p>逆差別が起きないように意識改革と行政の広報に期待しています。</p>
<p>全世界の貧困や飢餓の解決など掲げたゴールが非現実的な印象を受ける。あくまでも小さな地方公共団体としての推進策を検討してほしい。</p>
<p>可能であれば、施策の構想・準備段階を含めた推進と広報のあり方について、今一度、市民の参加観が得られるような巻き込んだ形での活動の展開を希望します。</p>